

## 日本語日本文学（国文学）

### ◇教員◇

教授：鉄野昌弘、高木和子、佐藤至子

准教授：木下華子、河野龍也 助教：阿部真也

### ◇学生◇

学部：51名、修士課程：24名、博士課程：31名（大学院学生数は、日本語日本文学専門分野としての総数）

### 国文学とは

#### Q：国文学は何を研究する学問ですか？

A：私たちは膨大な情報に囲まれて生きています。それらを読んだり、聞きしたりして、わかったような気分になることもあります。しかし、本当に自分の頭で考えて理解したと言えるものはどれだけあるでしょうか。文学研究の基本は、第一次資料を前にして、予断を排して思考を巡らすところにあります。国文学は、それを主に日本語で書かれた文献に対して行います。

#### Q：研究対象について具体的に教えてください。

A：中心となるのは、日本の古代から現代までの文学作品です。戯曲、歌詞、言葉と共に表現された絵画、そして漢文も研究対象になります。研究対象が身近に、しかも大量に存在するのが国文学の特色です。

研究方法も多様ですが、あくまで文献を対象として実証的に研究するというのが国文学研究の最大公約数といえるでしょう。

### 国文学専修とは

#### Q：国文学専修の特色は何ですか？

A：国文学専修では、世間で流行している議論に目を奪われたり、メディア受けする大仰な物言いに踊らされたりすることなく、研究対象に真摯に向き合い、自分の頭で考えることを重視しています。国文学研究室では存分に調べものをして、思索を深めることができます。研究室には貴重な写本・版本を含め、古典籍（和古書）が数多く所蔵されていて、学生でも手続きをすれば閲覧することができます。古典籍そのものが身近に

あることも、国文学専修の特色の一つです。

**Q：専任教員の専門分野を教えてください。**

A：国文学では、文学史を上代・中古・中世・近世・近現代の5つに区分することが一般的です。国文学専修には各時代を専門とする教員が揃っています。詳しくは、後掲「専任教員の自己紹介」をご覧ください。

**Q：第一次資料を前にして思考を巡らすとありましたが、どのような授業によってそれを学ぶのですか？**

A：「国文学演習」の授業では、個別の作品を対象に、その表現の成り立ちや意義を細密に分析していきます。演習は5人の専任教員全員が開講しており、学生の報告をもとに議論する形式で行われます。

また、古典籍を扱う方法を学ぶ授業として「日本書誌学概論」（必修科目）があります。講義に加え、研究室所蔵の古典籍を実際に手に取り、その扱い方を基本から学びます。

**Q：駒場生でも受講できる授業を教えてください。**

A：「国文学概論」（A Semester開講）は駒場キャンパスの教室で開講されます。国文学研究の基本を講じる必修科目ですので、2年生の時に受講することを強く推奨します。その他の科目についても、持ち出し専門科目の指定がある科目は受講できます。演習に参加している2年生もいます。詳しくはシラバスを参照してください。

**Q：他にはどのような授業がありますか？**

A：各教員が自らの専門分野について講義する「国文学特殊講義」があります。専任教員が覆い切れない分野は、毎年2～3人の非常勤講師を招聘して講じてもらっています。

また、毎年一つのテーマを決めて専任教員全員が連続講義をする「総合日本文学研究」があります。2020年度は「日本文学における「虚」と「実」、2021年度は「日本文学における「夢」、2022年度は「日本文学における〈作者〉」、2023年度は「翻案」をテーマに開講しました。

**Q：他の学部のような、固定したゼミはないのですか？**

A：文学部には、一人の学生が一つのゼミに所属するという制度はありません。複数のゼミ形式の演習に参加しながら、できるだけ幅広く学んでほしいと考えています。

**Q：卒業論文は必修ですか？**

A：必修です。ぜひとも納得のいくものを書いて卒業してほしいと思いま

す。研究者になるわけでもないのに、と思う人もいるかもしれませんが、本当に自分の手で調べ、自分の頭で考えたことを綴ってゆく喜びと苦しみを体験することは、社会に出ても必ずや意味をもつと信じています。

**Q：卒業論文で、村上春樹などを題材にしてもよいのですか？**

A：現代文学の研究に限らず、国文学では一つの言葉や表現がどういう経緯で存在しているか、ということを重視します。ですから、同時代のさまざまな言説はもちろん、そこへ至る歴史的な流れをなにより大切にしています。一つの言葉を考えるにも、さまざまな調査・分析が必要です。現代文学でいえば、近代文学の流れをトータルに見返すことが要求されるでしょう。つまり時代が新しくなるほど大変だ、ということになりますが、その覚悟さえあれば、かまいません。

**Q：研究指導はしてもらえるのでしょうか？**

A：教員は皆、教える情熱をあふれるほど持っています。場合によっては個別に時間をとって話をすることもあります。ですが、手取り足取りの指導は期待しないでください。親切すぎる指導は、主体性・自主性を奪うという意味で、かえって不親切になることもあります。もちろん、学生の皆さんが問題意識を持って質問に来れば、できるだけ丁寧に答えます（ただし、予約をとってください）。

上級生に学ぶという方法もあります。国文学研究室には、学部・大学院を含めると、教員・学生・研究員・研究生・外国人研究生を合わせて100名前後が所属しています。さまざまな専門の人がいますので、わからないことは積極的に尋ねてみましょう。学生どうしが教え合う文化は、国文学研究室の美点のひとつです。

**Q：研究室の場所を教えてください。**

A：国文学研究室は、法文2号館の3階・4階、法文1号館の1階・4階に部屋を持っています。ほぼすべての部屋が書庫を兼ねています。中心となる部屋は、法文2号館3階の研究室です。ここに助教の阿部さんと事務補佐員の小高さん・澤田さんが常駐していて、学生・院生に図書の出納や鍵の受け渡しなど、いろいろ便宜を図ってくれます。

**Q：研究室の課外活動はありますか？**

A：国文の年中行事の一つに「研究室旅行」があります。教員全員と学生が参加して、秋に1～2日の日程で文献資料を調査したり、文学遺跡を実地踏査したりします。2016年度は山梨、2017年度は小田原、2018年度

は日光、2019年度は筑波山・香取神宮へ行きました。2020～2023年度は感染予防の観点から見送りましたが、状況が落ち着いたら再開を検討したいと思います。

## 国文学専修を卒業した後

**Q：大学院への進学について教えてください。**

A：毎年、数名の学部生が大学院に進学しています。他大学からの受験生も多く、競争率は低くはありません。

修士課程を修了して博士課程に進み、博士論文を書き上げて博士号を取得したとしても、研究職に就くことは簡単ではありません。しかし、研究職への就職も、高等学校の国語科教員への就職も、他大学に比べればだいぶ恵まれています。大学教員の採用試験では、実際に教育現場に立ったことがあるかどうか問われます。その際、高校で教えた経験があれば役に立ちます。大学院進学を考えている人には、教員免許を取得しておくことを強く勧めます。

中学・高校の教員や出版関係の仕事に就きたい人にとっても、修士課程で学ぶことは色々な意味で有益でしょう。学部卒業後すぐに就職する道も、もちろんありますが。

大学院は、学部よりもさらに研究に特化した学びの場です。モラトリアムで進学するのはあまり勧められませんが、日本の文化をより深く専門的に学んでおくことは、ビジネスや政治の世界でもきっと役に立つでしょう。特に海外で仕事をする際には、日本のことを必ず尋ねられます。修士課程修了後、一般企業や官庁に就職して活躍している卒業生もたくさんいます（末尾「卒業生の進路」参照）。

**Q：文章を書くことが好きなのですが、国文で勉強して作家を目指すことはできますか？**

A：創作方法を教えるような授業はないので、それは自分で勉強することになります。国文の卒業生には、大勢の作家がいます。例えば、中勘助や堀辰雄、川端康成などは有名です。舟橋聖一、阿川弘之、杉浦明平、大岡信、宇野鴻一郎、橋本治も国文の卒業生です。

**Q：外国人に日本語や日本文学を教える仕事にも興味があるのですが…。**

A：国文には外国人の留学生が常に在籍していて、接する機会は非常に多いです。もっとも、外国人に教える仕事を目指すには、英語などの外国

語の学習が必要となるのは言うまでもありません。

## 専任教員の自己紹介

### 鉄野昌弘教授（上代）

「日本」という国が立ち上げられたころの「文学」、つまりは「日本」最初の「文学」を主に扱っています。この頃は、まだ日本語専用の文字が無い時代です。それは未開ということでもありますが、漢字というツールで東アジア全体がつながっていたとも言える。そのような国際的に開かれた中で、日本語話者たちが何を作って行ったのか、という観点から、上代文学を見たいと思っています。

### 高木和子教授（中古）

『源氏物語』を中心に、平安時代の物語や日記や和歌などの仮名文学について研究します。高校の古文の教材の大半は平安文学ですから馴染み深いことでしょうが、大学での古典文学研究には高校では経験できなかった方法上の発展があり、これまでの印象は一変するはずで、古文は苦手だったという人にも、知的遊戯の場として参加してほしいものです。

### 木下華子准教授（中世）

平安末・鎌倉・室町時代（中世）の文学を担当します。中世には、韻文である和歌、散文である物語・軍記・説話など様々な文学の領域が存在します。中世文学の担い手は、藤原定家も鴨長明も、私たちが思う以上に複数の領域を横断する多面的な存在でした。授業では、作品の言葉・表現の分析を通して、このような時代に生成した表現意識や言葉が創り出す世界を拓きたいと考えています。

### 佐藤至子教授（近世）

近世（江戸時代）の文学を担当しています。近世文学を理解するには、近世の人々が何を読み、何を常識としていたかを知ることが大切です。演習では、原文に注釈をつける作業を特に重視しています。近世の文献をひたすら読み、調べていると、雑学も含めていろいろな知識が身につく、くずし字も読めるようになり、江戸っ子の言う洒落も

理解できるようになります。近世に生きた人々と同じ視線で作品を読む楽しみを味わってみませんか。

### 河野龍也准教授（近現代）

文学が近・現代の社会の中で果たした役割について考えています。絵画と文学が共通して向き合った表現課題や、文学における国民意識の形成、外地文学・紀行文学と日本語の問題など、時代状況との応答関係から文学を捉える研究を目指しています。授業では、地図を使った作品研究や、論争から再検討する文学史、自筆原稿の検証など、様々なアプローチに挑戦し、近・現代文学の価値を考察して行きます。

### 国文学専修への進学を考えている皆さんへ

進学までに、ぜひ、たくさんの本を読んでおいてください。本選びに迷う人は、秋に行われる進学内定者ガイダンスで配布する推薦図書リスト「国文学志望の皆さんへ―読書の手引き―」を参考にするといいでしょう。狭い視野や、こわばった思考の中に閉じこもらないでほしい。好奇心をもって、未知の分野、知らない作家、読んだことのない作品にチャレンジしてみてください。

一緒に、研究したり議論したりできる日を楽しみにしています。

### 卒業生の進路

#### 2023年度

香川県庁職員、カンディハウス、集英社、農林中央金庫、ミルボン、明治安田生命保険相互会社、楽天グループ、ラセングル、鉄道模型製作業（以上、各1名）、大学院進学（3名）など

#### 2022年度

信金中央金庫、ベイカレントコンサルティング、松竹、三井住友海上火災保険、FUNtoFUN、三菱商事、公募ガイド、埼玉県庁、ブレンバンク、日本航空、芙蓉総合リース、丸紅、スマートゲート、旺文社、ゼンリン（以上各1名）、大学院進学（9名、うち他専門分野1名）、未定（1名、公認会計士受験準備）

2021年度

オースビー株式会社、講談社、PwC コンサルティング合同会社、エア・ウォーター株式会社、神戸市役所、読売新聞、野村信託銀行、マッキンゼー&カンパニー、くまざわ書店、学習塾 ena（以上各1名）、教員2名、大学院進学（4名、うち他大学院1名）

2020年度

ADK、NHK、鹿島建設、プロレド・パートナーズ、McKinsey&Company、楽天、経済産業省、光村図書出版、ダイキン工業（以上、各1名）、大学院進学（6名、うち他大学大学院1名）

2019年度

NTTコミュニケーションズ、楽天、パナソニックシステムソリューションズジャパン、朝日広告社、中央法規出版、ディスカヴァー・トゥエンティワン、SMB C、第一生命（以上、各1名）、大学院進学（9名）

2018年度

国際石油開発帝石、レイスグループ、シーエー・モバイル、日本航空パイロット、住友商事、国立国会図書館、モルガン・スタンレー、野村證券、NHK、芳文社（以上各1名）、大学院進学（6名）

2017年度

SGホールディングス、日本調剤株式会社、アクセンチュア、経済産業省、World CARP Japan、経営共創基盤、りそな銀行、日本経済新聞社、株式会社電通、光村図書出版、株式会社オリエンタルランド、四国電力、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、GREE（以上各1名）、大学院進学4名（うち他大学大学院1名）など。

2016年度

フロムスクラッチ、バンダイナムコエンターテインメント、日本レコード・キーピング・ネットワーク、農林中央金庫、集英社、アヴァンザ、芳文社、久月、コンベンションリンケージ、住友商事、三井住友銀行、東京都庁、河合塾マナビス、関西テレビ放送、47株式会社、シンメトリック、福岡県庁、三井住友信託銀行（以上各1名）、大学院進学（4名）など